

八木健の川柳アート

53

疑問を持つことが大切

促成栽培、抑制栽培。はたまたパイオの技術により、なんでも一年中手に入るようになった。代償として大切な「感動」を失ったのですか……？

一年中あるから句と云われても



今月の八木健

特選

選者・川柳アート

八木健

(月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者)



山内 元子 (伊予市)

しつこくデジタル迫る画面端

二十一年七月二十四日が近づくと、いまだにアナログテレビを使っている人間は肩身が狭い。なのに、デジタルにするお金がないのかと迫るのは現代版「ああ無情」だね。

佳作



藤原 白男 (今治市)

全力で走っただけでは芽が出ない。遮二無二頑張れば認められる時代は終わった。全体を見渡す能力が求められている。全力で走っているのは、それは無理というわけですね。



森 精一郎 (松山市)

核持つな持つてる国の言うセリフ

これは北朝鮮の言い分だが、一理あると、みんなどこかで思っている。しかし、その言い分を認めたなら、全世界に核の脅威が広がってしまう。そこをなんとか。



大西 知子 (松山市)

札束と積もる話が見たい。経済的に苦勞なさったとお見受けします。百萬元、貳百萬元の札束を手に積もる話を・お話だけでよろしいのですね。なるほどねふむふむ……、使い方が分からない。



城導寺しん (八幡浜市)

そのまんま腰すえしかと県政を。東原氏の高い支持率に魅かれて某党が近づいたが、結局失敗。しかし総裁にしてみたかったねえ。句とは逆に、大暴れしていつの日か国政を担ってほしいね。

本コーナーが
待望の単行本化
好評発売中!!

愛媛の柳社紹介

■汐風川柳社
代表者：平岡 清晃
所在地：今治市小泉五丁目10-36
木原鶴子方 汐風川柳社
連絡先：0898-24-1010
汐風川柳社は、昭和二十四年一月九日、前田伍健先生にご臨席いただき、菊岡町公会堂にて汐風発行記念句会を行った、古い歴史のある吟社です。毎月柳誌を発行し、現在七二八号になります。皆さまのご入会をお待ちしています。



結局は妻の味覚に慣らされる
木原 一柳



金婚式置いてやったに居てやった
平岡美須子

「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。